

平成30年度 みやぎラムサール

トライアングル魅力発信事業

情報発信基盤整備業務報告書

平成31年3月

特定非営利活動法人田んぼ

はじめに 宮城県北部に渡来するガン類について、ラムサール条約登録湿地となっている伊豆沼、内沼、蕪栗沼、化女沼での早朝飛び立ち個体数の調査が行政によって続けられてきたが、日中の分布については広大な水田地帯に分散することから調査は行われていない。この困難な広域調査が市民ボランティアの手によって実施されている。調査は【Flying Geese を探せ!】と名付けられ、2005年に蕪栗沼周辺地域から始まり、その後、伊豆沼周辺地域とも調査日を合わせ県北地域をカバーする大規模な調査となった。大崎耕土の世界農業遺産への申請作業が進んでいた2017年11月から調査地域を西側に拡げ、大崎市古川西部、岩出山、真山、加美町が加わった。さらに、2019年1月には品井沼から西側の吉田川流域を試験的に実施した。調査は多くの皆様に参加いただき、メンバーも少しずつ増えている。本報告は、2018年11月から2019年2月に実施された【Flying Geese を探せ!】調査結果をまとめみやぎラムサールトライアングルの魅力発信のための基礎資料とするものである。

調査日 ガン類の個体数の多い11月から2月の第二日曜日に計4回実施した。一斉調査日は2018年11月11日、12月9日、2019年1月14日、2月10日であった。一部人員の都合で一斉調査日の前日または翌日に実施した調査区域があった。調査日の一覧を表1にまとめた。

調査地区 図1に示す、約1,000km²の地区で実施した。現地では2万5千分の1地形図にガン類の群れの中心をプロットするとともに、種名、種ごとの個体数、行動（採餌・休息・背眠・休息）、環境（水田、畑、農道など）を記録した。

集計結果 調査者のべ75人により、1,425件のデータが得られ、のべ382,222羽が記録された。調査員が記録したガン類のデータは月ごと、種ごと、環境省の3次メッシュごとに集計した（図2～23）。あわせて市町ごとの集計を行った（表2～8）。確認された種は、マガン *Anser albifrons*、亜種ヒシクイ *A. fabalis serrirostris*、オオヒシクイ *A. f. middendorffii*、シジュウカラガン *Branta hutchinsii*、シジュウカラガン中型亜種 *B. sp.*、ハクガン *A. caerulescens*、カリガネ *A. erythropus*の7種・亜種であった。平成30年(2018年)は、大豆の作付けが拡大し、ガン類の採餌場所が例年と異なる地域があった。大豆は11月の調査日以降に収穫作業が行われた場所が多かった。寒い日の多かった昨年とは対照的に、今季は暖冬であった。北帰行も例年より早めに始まっているようで、2月半ば頃から「マガンが随分減ってきましたね」といった会話が市民の間でも聞かれるようになった。

マガン 図2～5。渡来するガン類のうち、最も個体数の多い種。10年以上続けてきた「Flying Geese を探せ!」調査から渡来当初は埒である伊豆沼や蕪栗沼周辺に多くの個体が集中していること、年末、年明けと越冬期を通じて行動範囲は広がっていき、大崎市岩出山や加美町へも採食にでかけるようになる様子がわかってきた。10万羽のマガンの中には部分白化した個体が数羽、シジュウカラガンとの雑種と思われるまだら模様の顔をした個体が観察された。また、昨年引き続き緑F 2 Yのカラーリング標識を付けた個体が確

認され、標識放鳥後14年4ヶ月を経過した記録となった。これは標識マガンの最長寿記録である。

オオヒシクイ 図6～7。ヒシクイの亜種で亜種ヒシクイよりも嘴が長く、スラッとした顔つきをしている。蕪栗沼や長沼で罫をとるオオヒシクイは夜間に採食に出かける個体も多いので、採餌場所の全容を把握するには難しい面もあるが、昨シーズンと同様、蕪栗沼周辺の水田や大崎市岩出山上野目付近で日中採食する姿が観察されている。日中も蕪栗沼などに留まっている個体も多く、水田などを対象にしている本調査では越冬している総個体数は把握しきれていない。

亜種ヒシクイ 図8～11。ヒシクイの亜種で調査エリアの東側、平筒沼の南側の地域に多くの個体が見られた。昨シーズンまで安定的に採食場として利用していた水田は大豆畑となり、新たな餌場を探して動き回っている印象があった。夜間も沼には帰らずに田んぼで採食を続ける個体も多いようで、その暮らしぶりは謎に満ちている。

シジュウカラガン 図12～15。本種の確認個体数は2017～2018年の調査シーズンでヒシクイの確認個体数を初めて上回り、今季も同様の状態が続いている。12月から1月にかけて多くの個体が確認されるが、11月や2月は多くない。マガンよりも遅く渡来し、早く渡去すると考えられている。日中の採食場所は11月から2月へと時期が進むにつれて、どんどん罫の沼から離れた場所が変わっていく。マガンなどの採餌場所が2月頃に北よりの地域に移っていくのに対して、シジュウカラガンでは西側へ移る様子が見られた。

シジュウカラガン中型亜種 図16～17。シジュウカラガンと良く似ているが、少し大きめで頸の白いリング状の模様がなかった。確認した調査員によるとチュウカナダガンでは？との報告だったが、シジュウカラガン・カナダガンの各亜種は良く似ているので亜種レベルの判断は保留にした。日本鳥類目録改定第7版ではシジュウカラガン *Branta hutchinsii leucopareia* とヒメシジュウカラガン *B. h. minima* が正式記録として、チュウカナダガン *B. canadensis parvipes* とチュウショウカナダガン *B. h. taverneri* が検討中の種・亜種に含まれている。1月と2月にそれぞれ1羽が観察された。情報の少ない亜種なので、写真撮影など丁寧に記録を重ねていくことが必要である。

ハクガン 図18～19。例年観察できていた大崎市田尻北小塩の水田は、一部で大豆栽培が行われ、12月頃に収穫作業が行われた。そのためか12月以降のガン類の利用は少なく、ハクガンも観察できなかった。今回の調査では毎月確認できる場所が異なり、蕪栗沼周辺から伊豆沼周辺へと移動し、2月には岩手県平泉町から情報があつた。2月10日に平泉町で観察された後、翌日同数が伊豆沼から北へ飛ぶ姿が確認された。標識個体ではないので「絶対」ではないが、伊豆沼と平泉を往復している様子がうかがえる。

カリガネ 図20～23。長沼の南東側の水田で少数が確認できた。マガンの群れの近くに似たような姿の本種がいるので、なかなか見つけづらい。今回は最大で19羽が確認されたが、まだまだ情報不足かと思われる。

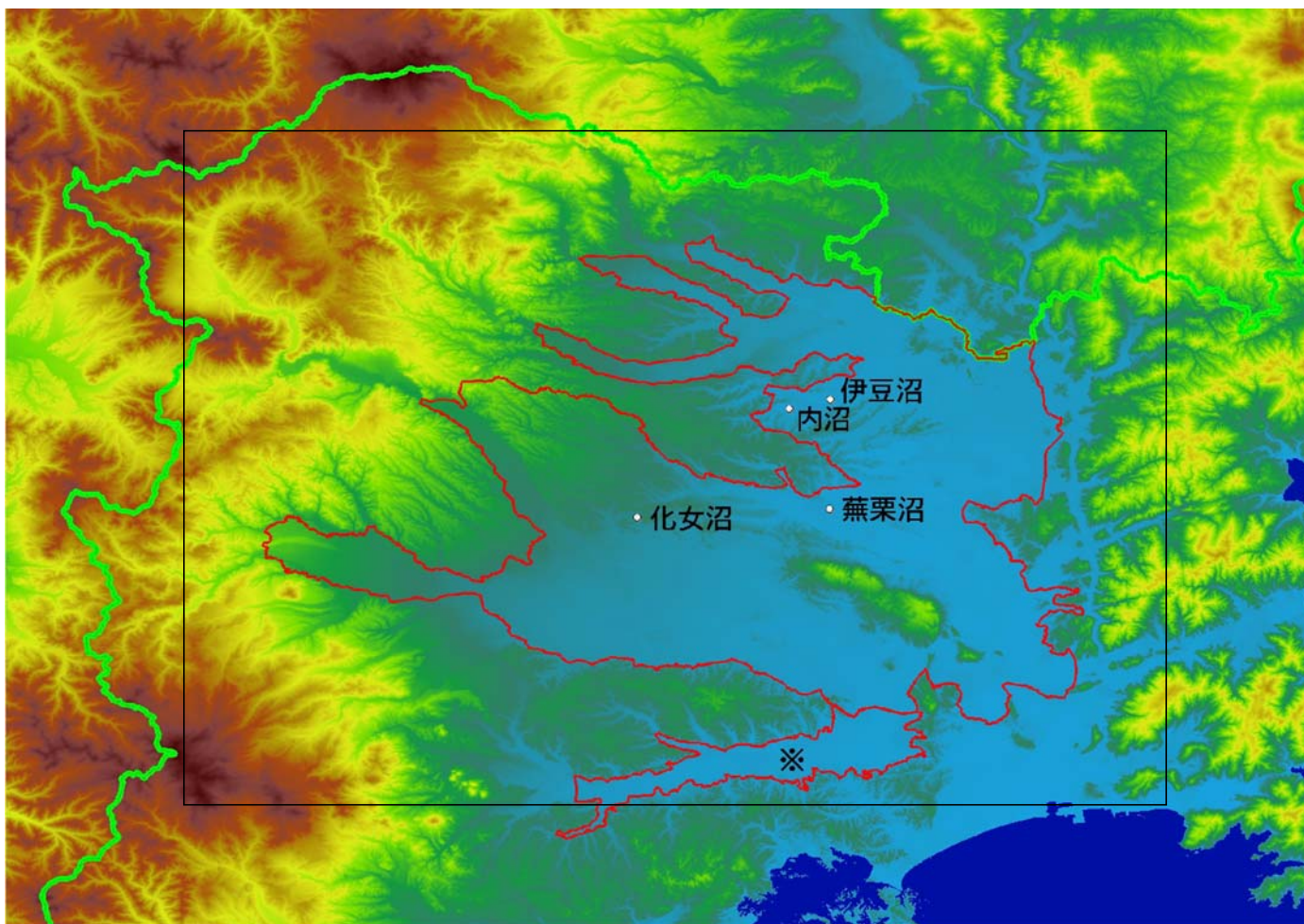


図1 「Flying Geese を探せ！」の調査実施範囲





-  調査実施範囲
-  調査範囲のうち、2019年1月13日のみ試験的に実施した範囲
-  県境
-  図2～23の分布図描画範囲

表1 調査実施日

一斉調査日	備 考
2018年11月11日	大崎市岩出山地区、真山地区、登米市の一部（長沼周辺）を10日に実施
2018年12月9日	登米市の一部（長沼周辺）を8日に実施
2019年1月14日	大崎市岩出山地区、真山地区を15日、登米市の一部（長沼周辺）を13日に実施
2019年2月10日	加美町を11日に実施

表2 マガンの確認個体数 市町別

調査日	総個体数	栗原市	登米市	大崎市	加美町	色麻町	美里町	涌谷町	富谷町	大和町	大郷町	松島町	石巻市
2018年11月11日	88,967	44,022	23,985	15,639	0	0	1,168	4,132	0	0	0	0	21
2018年12月9日	71,203	20,493	28,663	14,369	0	0	6,510	93	0	0	0	0	1,075
2019年1月14日	97,998	26,241	30,310	24,843	6,883	0	5,123	546	0	0	0	0	4,052
2019年2月10日	64,135	17,233	12,814	17,041	12,002	0	1,233	503	0	0	0	0	3,309

表3 オオヒシクイの確認個体数 市町別

調査日	総個体数	栗原市	登米市	大崎市	加美町	色麻町	美里町	涌谷町	富谷町	大和町	大郷町	松島町	石巻市
2018年11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018年12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019年1月14日	26	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019年2月10日	21	6	8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表4 亜種ヒシクイの確認個体数 市町別

調査日	総個体数	栗原市	登米市	大崎市	加美町	色麻町	美里町	涌谷町	富谷町	大和町	大郷町	松島町	石巻市
2018年11月11日	418	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	347
2018年12月9日	626	0	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	521
2019年1月14日	677	0	150	123	0	0	0	0	0	0	2	0	402
2019年2月10日	520	23	68	145	0	0	0	0	0	0	0	0	284

表5 シジュウカラガンの確認個体数 市町別

調査日	総個体数	栗原市	登米市	大崎市	加美町	色麻町	美里町	涌谷町	富谷町	大和町	大郷町	松島町	石巻市
2018年11月11日	730	13	22	681	0	0	0	14	0	0	0	0	0
2018年12月9日	2,343	0	47	91	0	0	2,205	0	0	0	0	0	0
2019年1月14日	1,389	0	96	191	1,073	0	23	0	0	0	0	0	6
2019年2月10日	411	0	1	267	143	0	0	0	0	0	0	0	0

表6 シジュウカラガン中型亜種の確認個体数 市町別

調査日	総個体数	栗原市	登米市	大崎市	加美町	色麻町	美里町	涌谷町	富谷町	大和町	大郷町	松島町	石巻市
2018年11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018年12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019年1月14日	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019年2月10日	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表7 ハクガンの確認個体数 市町別

調査日	総個体数	栗原市	登米市	大崎市	加美町	色麻町	美里町	涌谷町	富谷町	大和町	大郷町	松島町	石巻市
2018年11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018年12月9日	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019年1月14日	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019年2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表8 カリガネの確認個体数 市町別

調査日	総個体数	栗原市	登米市	大崎市	加美町	色麻町	美里町	涌谷町	富谷町	大和町	大郷町	松島町	石巻市
2018年11月11日	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018年12月9日	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019年1月14日	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019年2月10日	19	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図2 マガン

一斉調査実施日

2018年11月11日

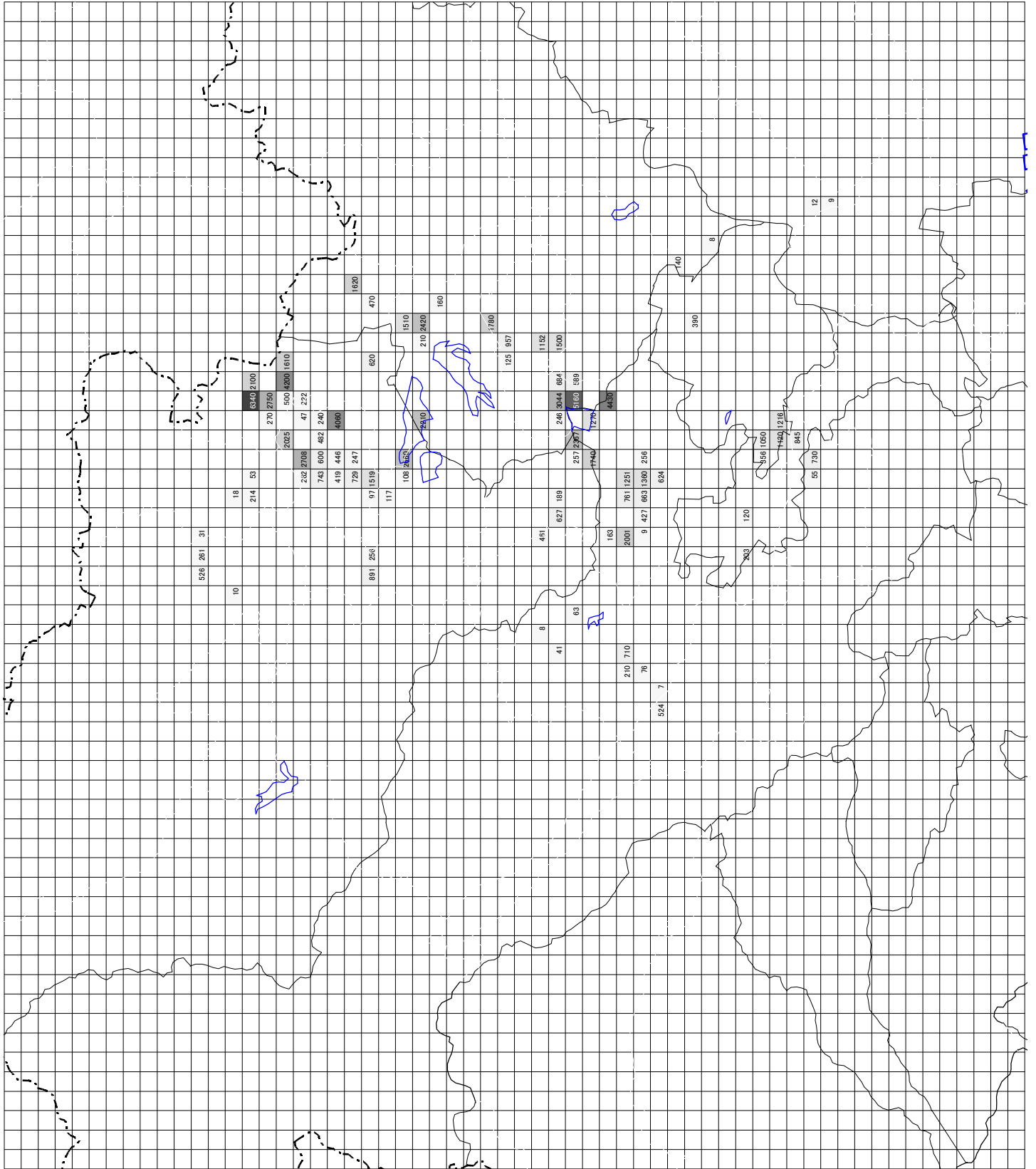


図3 マガン

一斉調査実施日

2018年12月9日

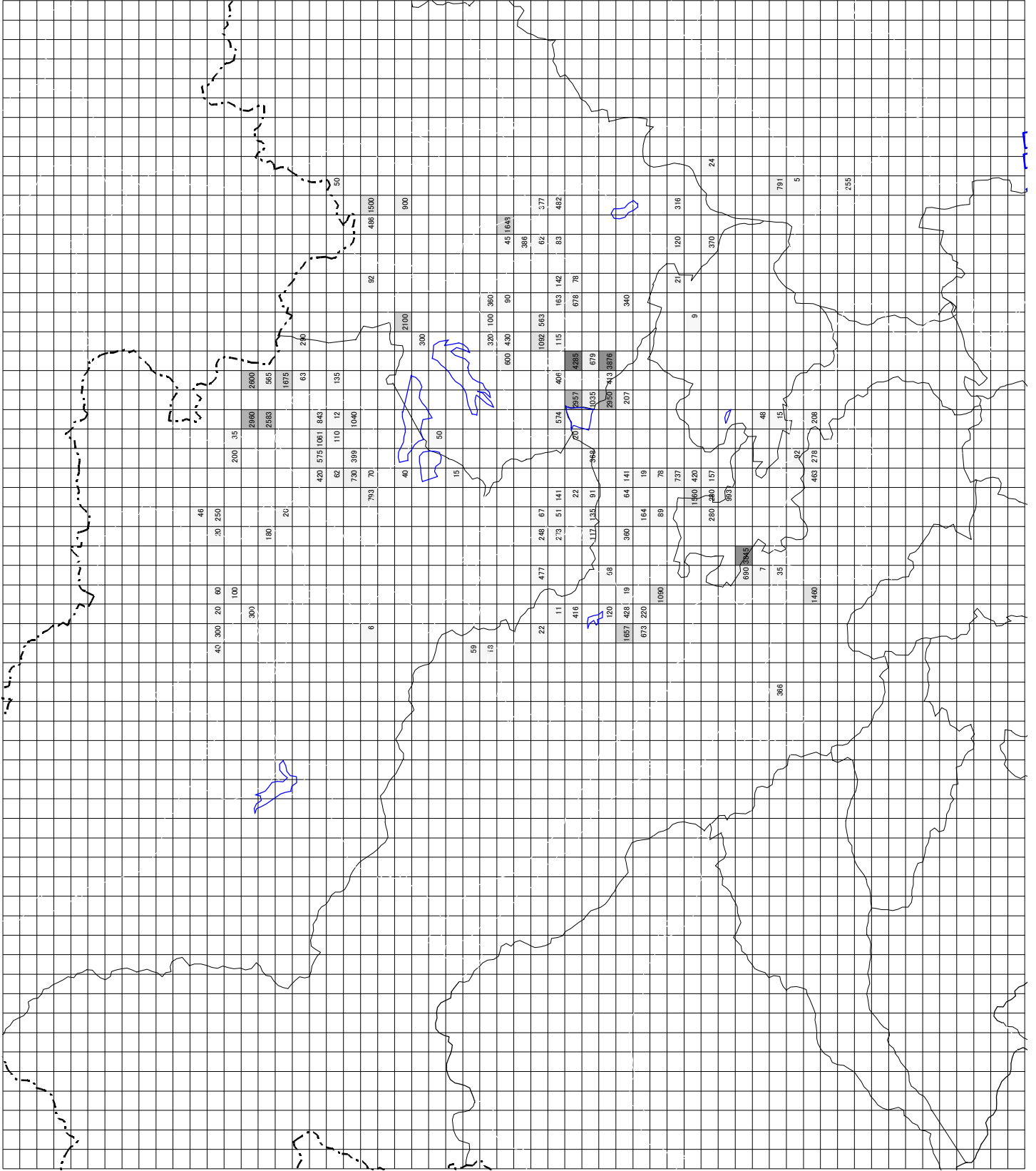


図4 マガン

一斉調査実施日

2019年1月13日

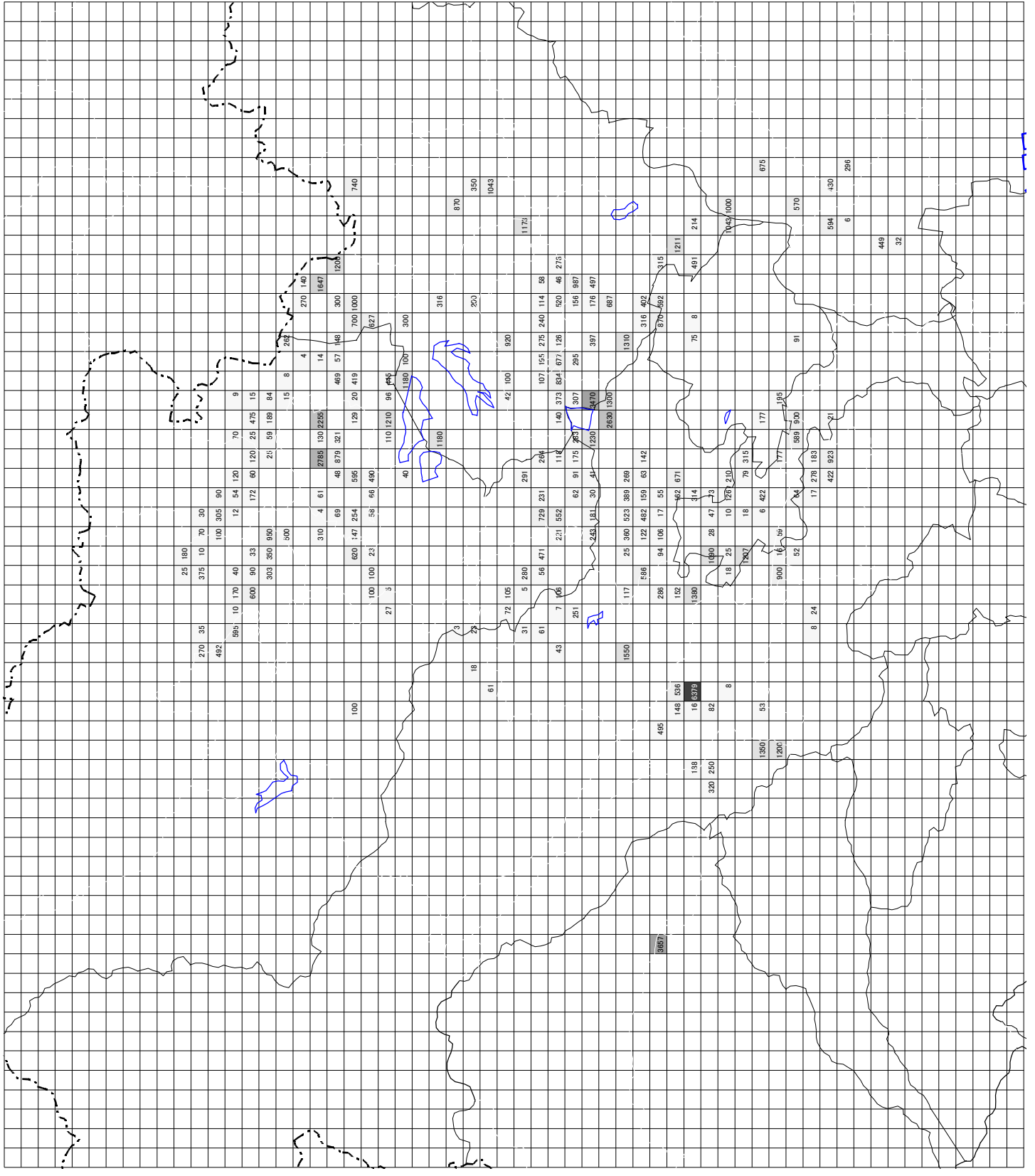


図5 マガン

一斉調査実施日

2019年2月10日

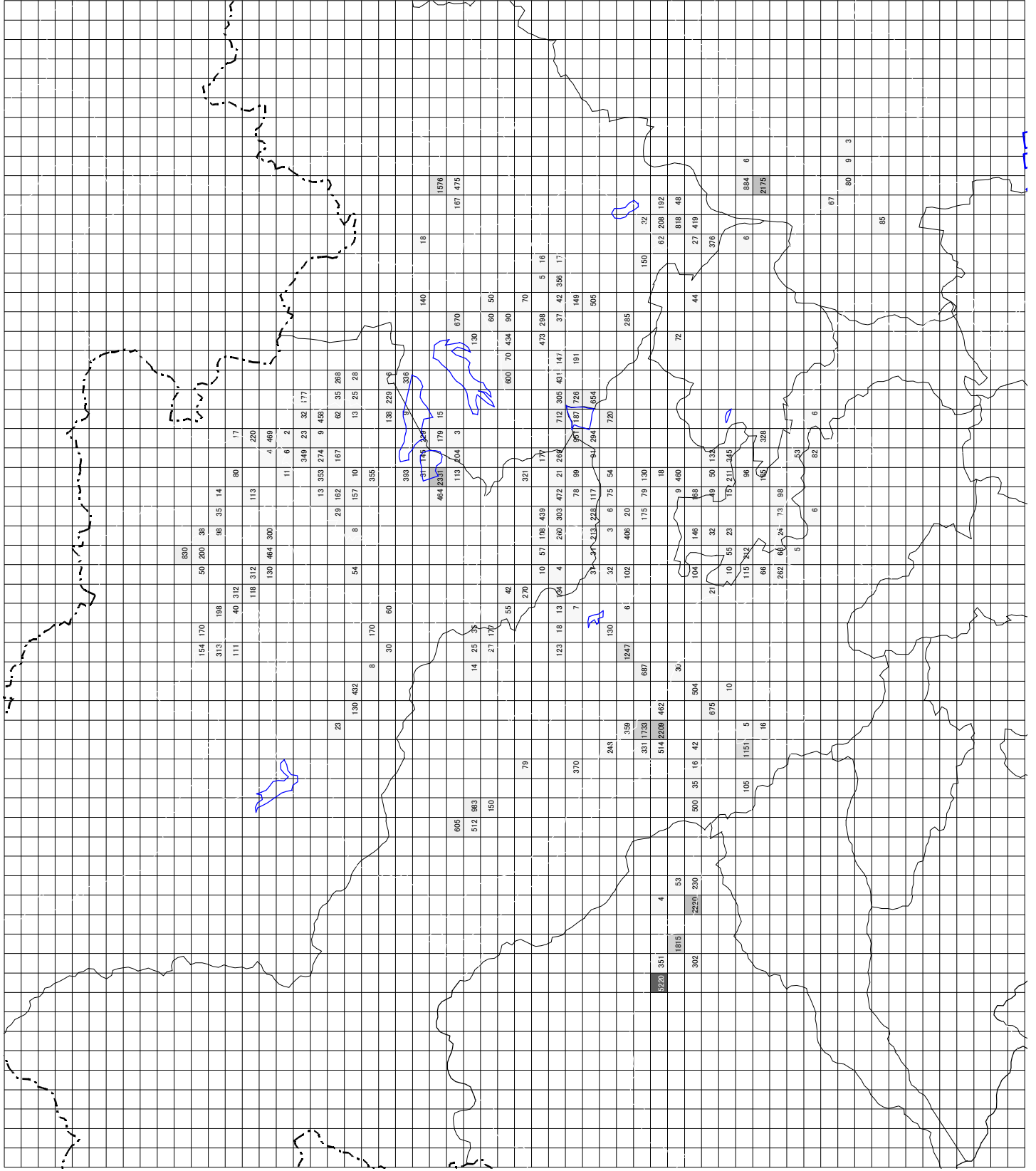


図6
オオヒシクイ

一斉調査実施日

2019年1月13日

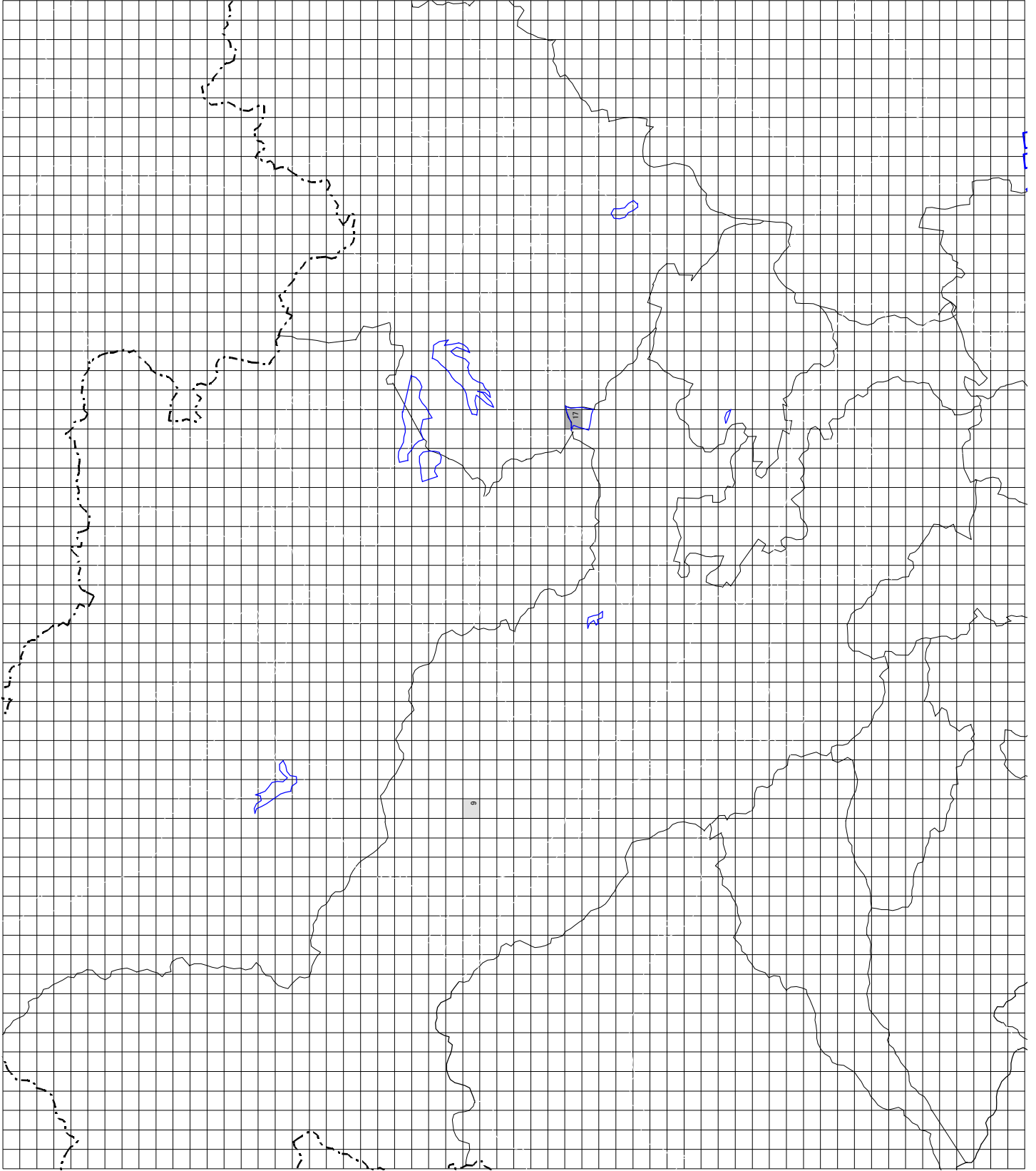


図7
オオヒシクイ

一斉調査実施日

2019年2月10日

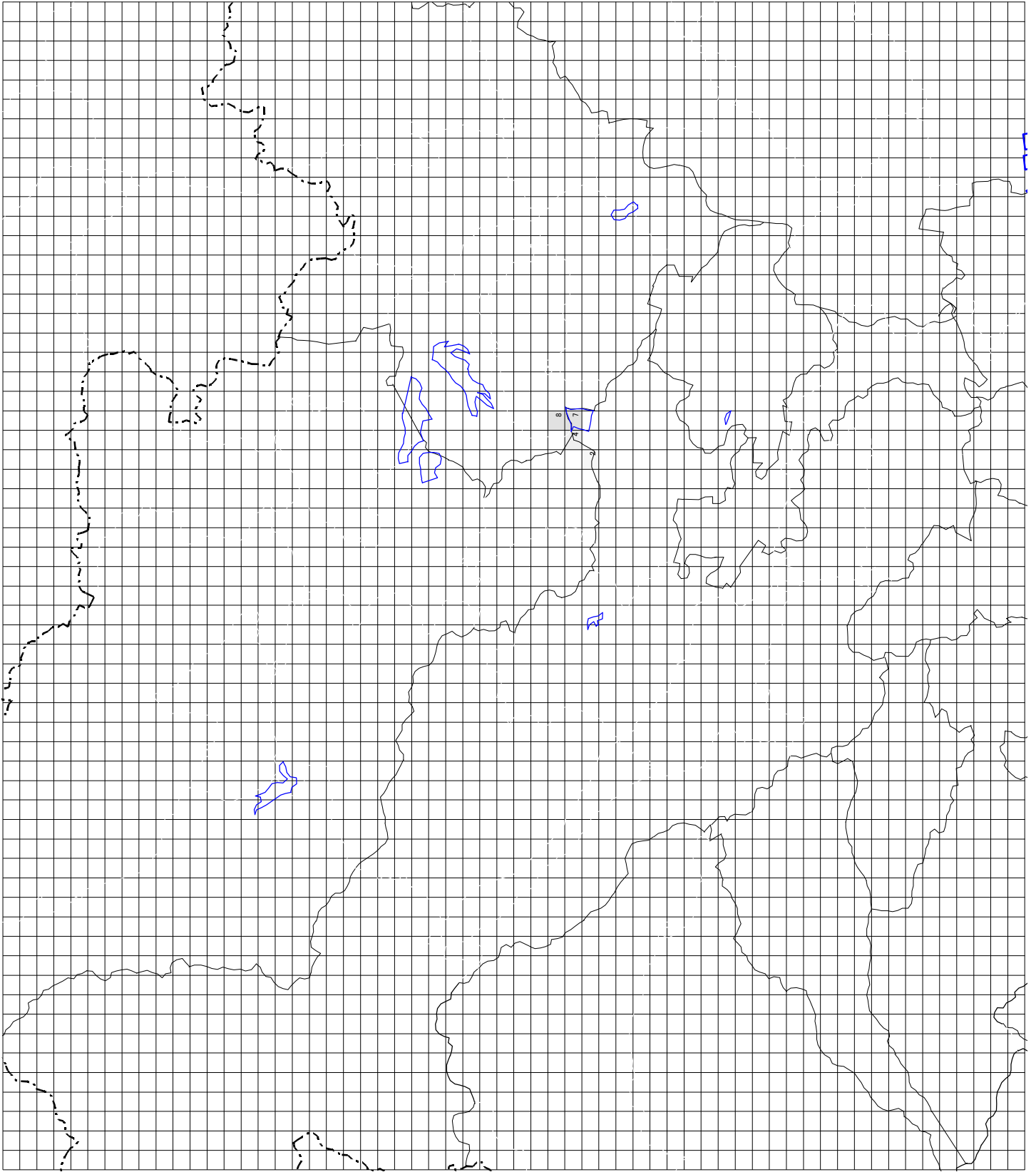


図8 亜種ヒシクイ

一斉調査実施日

2018年11月11日

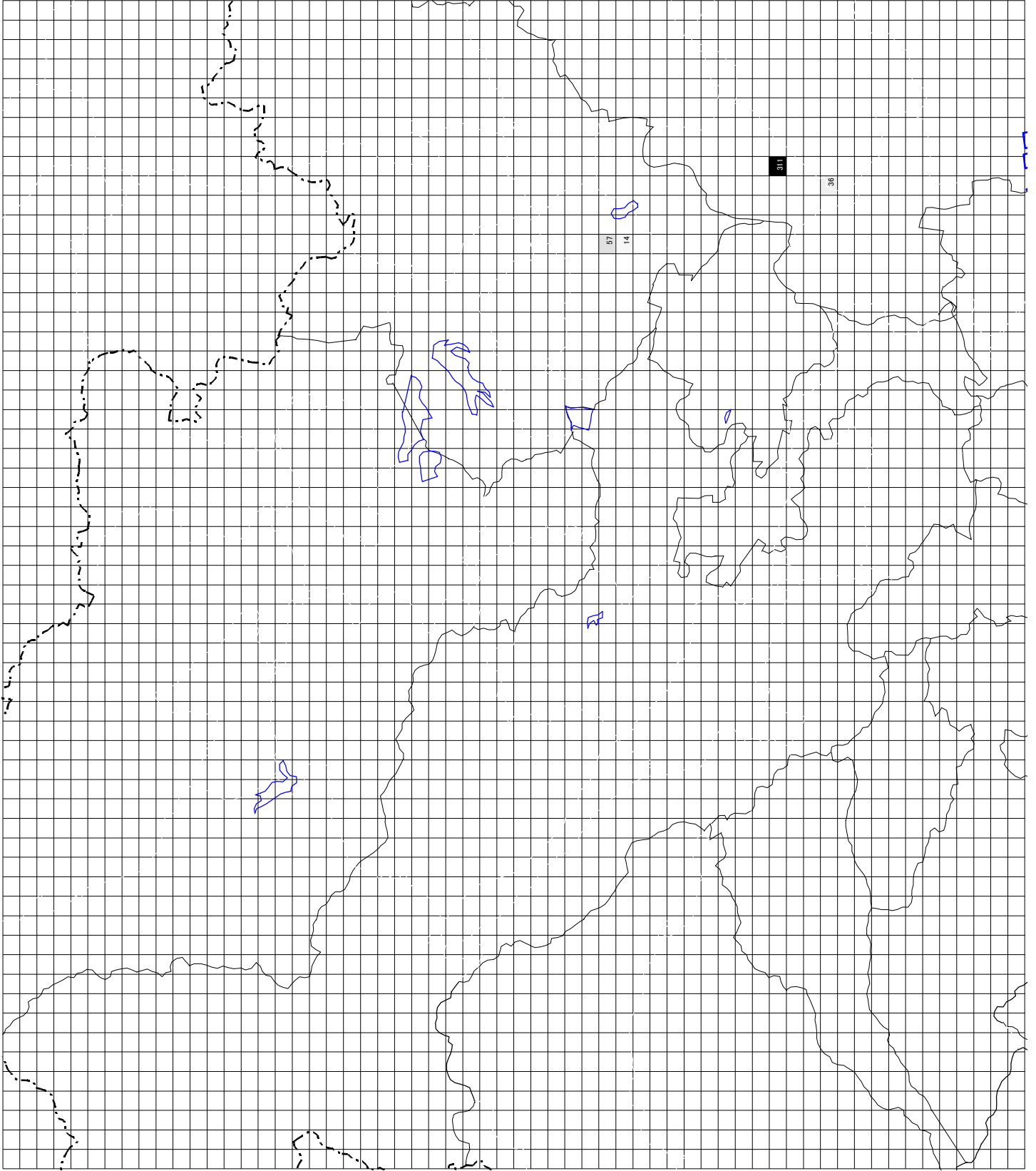


図9 亜種ヒシクイ

一斉調査実施日

2018年12月9日

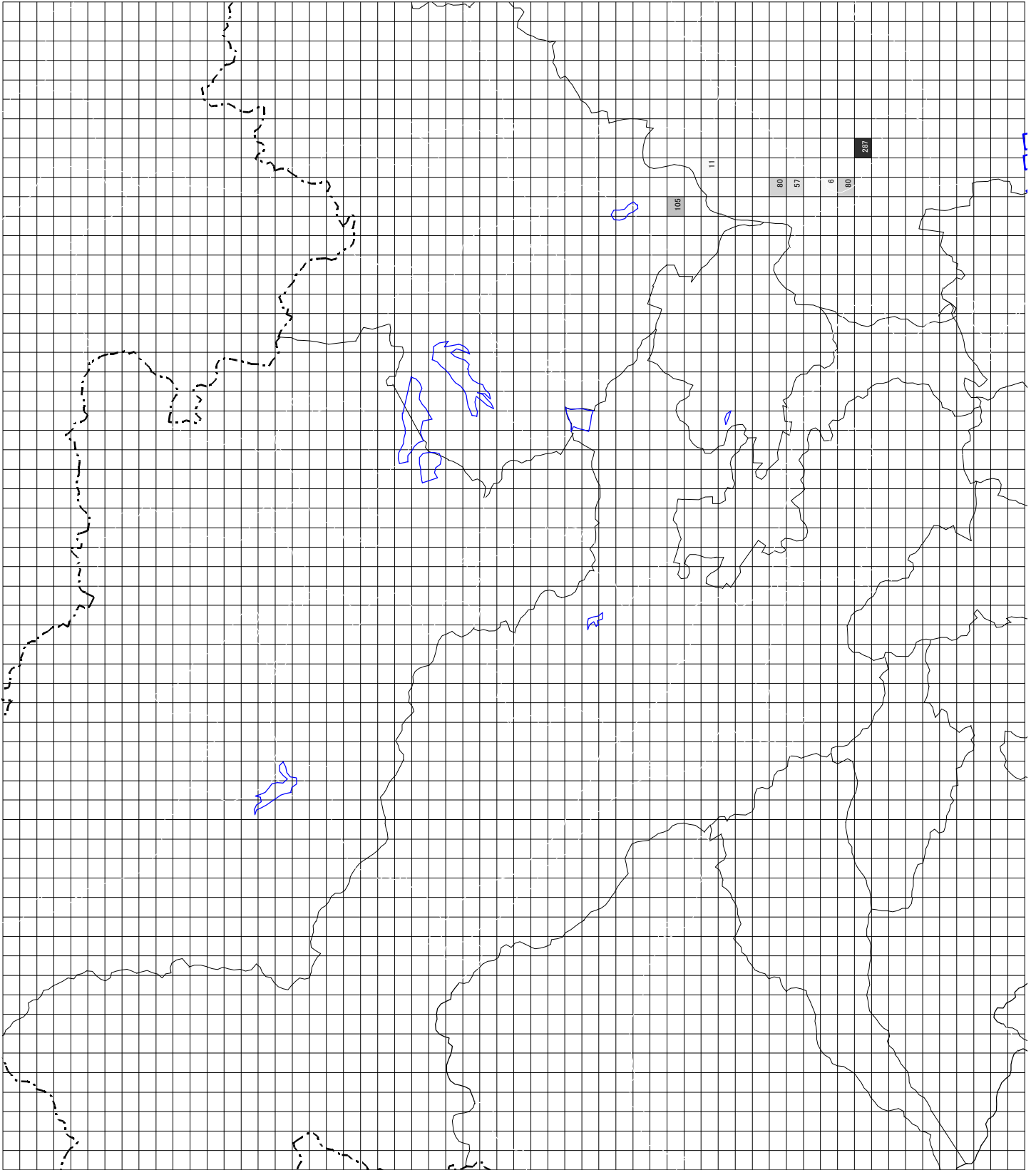


図10 亜種ヒシクイ

一斉調査実施日

2019年1月13日

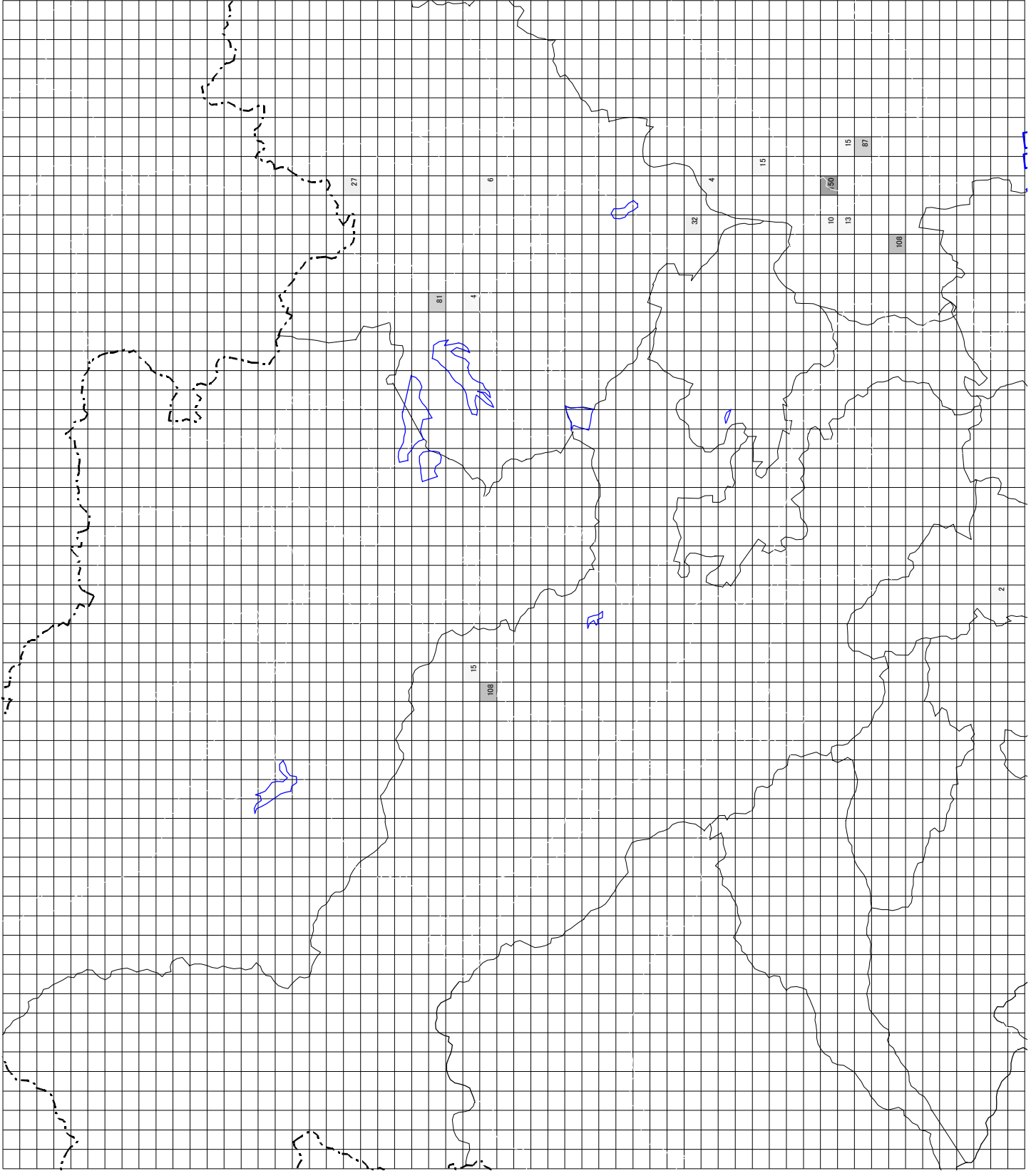


図11 亜種ヒシクイ

一斉調査実施日

2019年2月10日

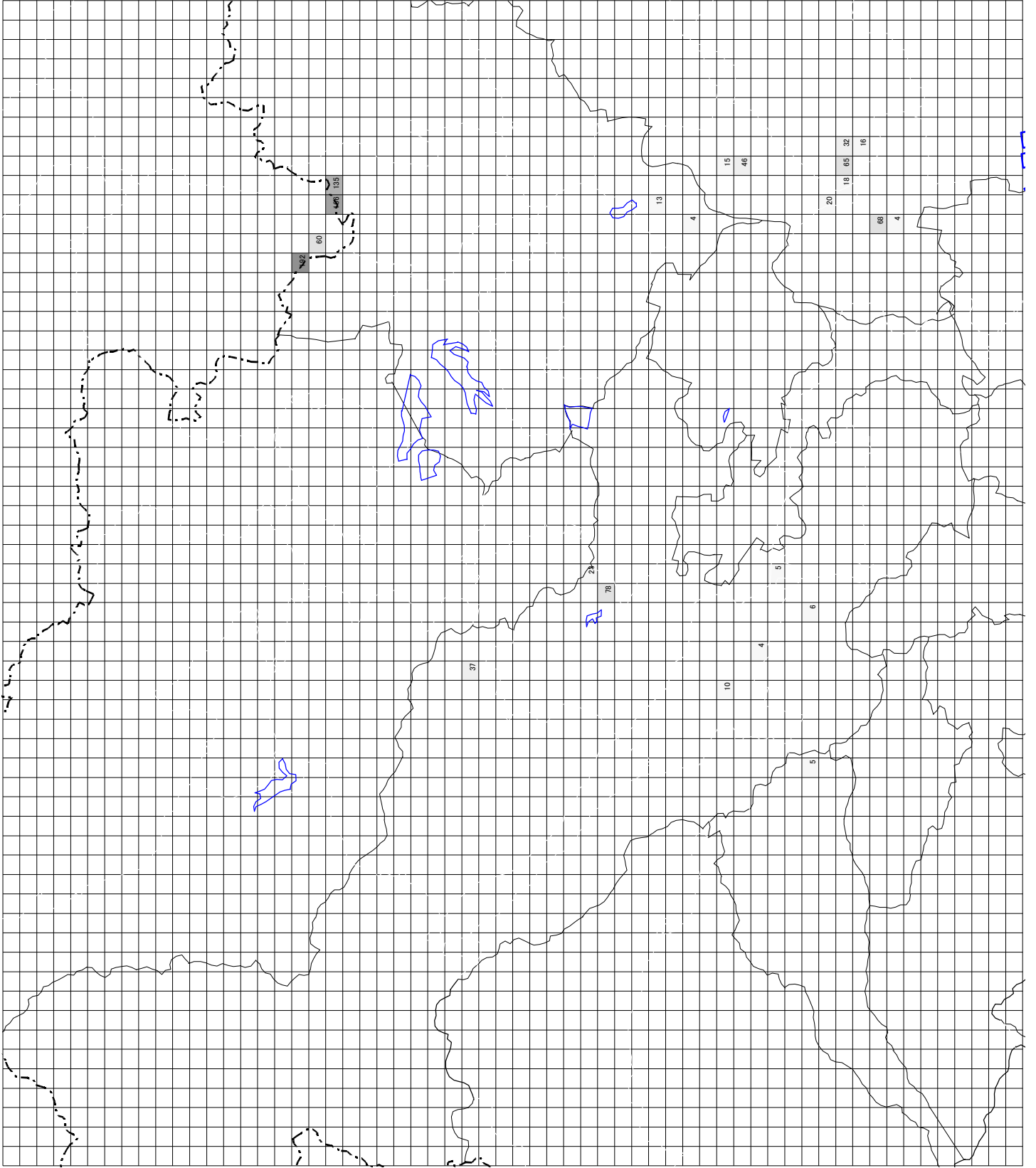


図12 シジュウカラガン

一斉調査実施日
2018年11月11日

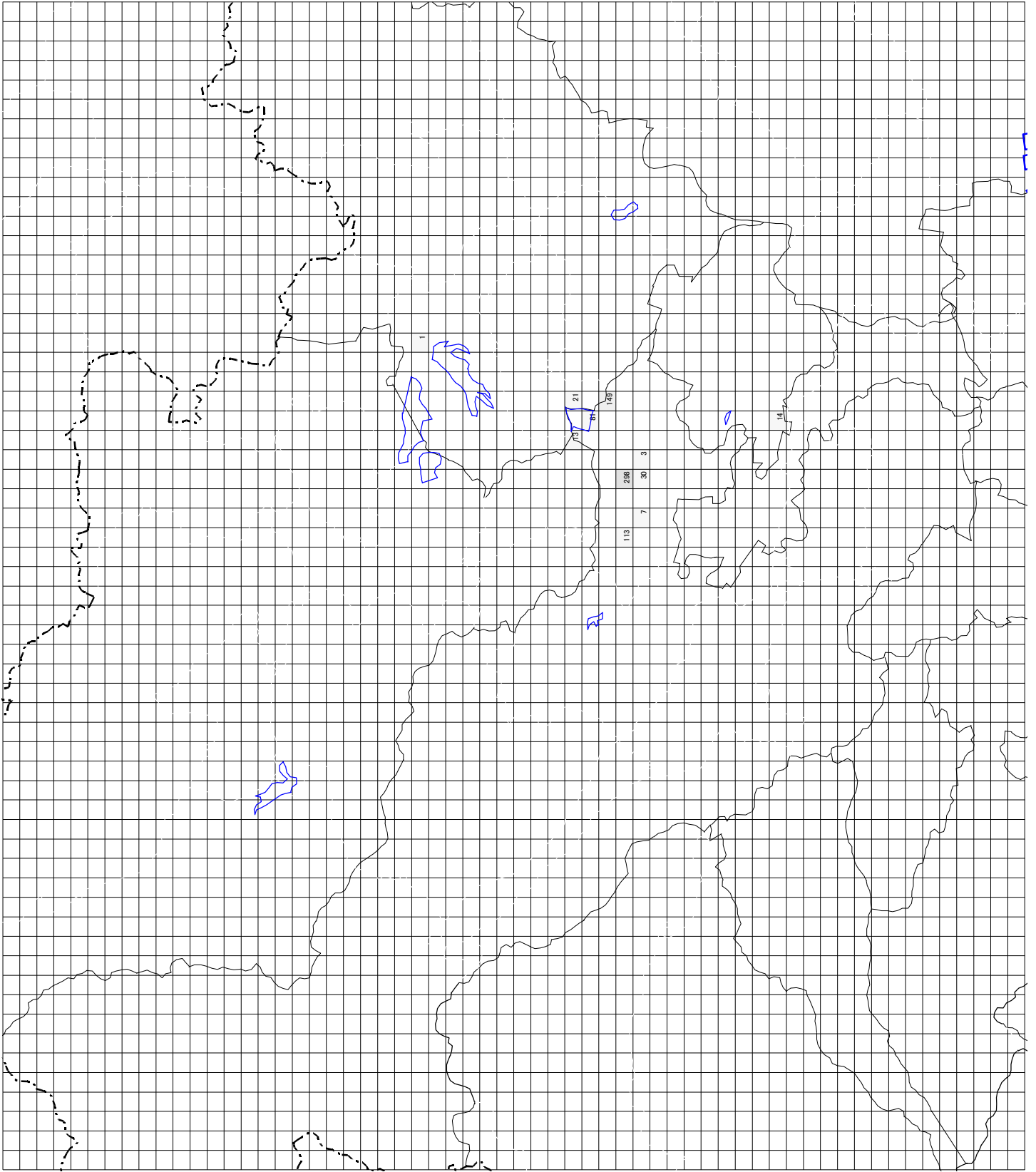


図13 シュユウシカラガン

一斉調査実施日
2018年12月9日

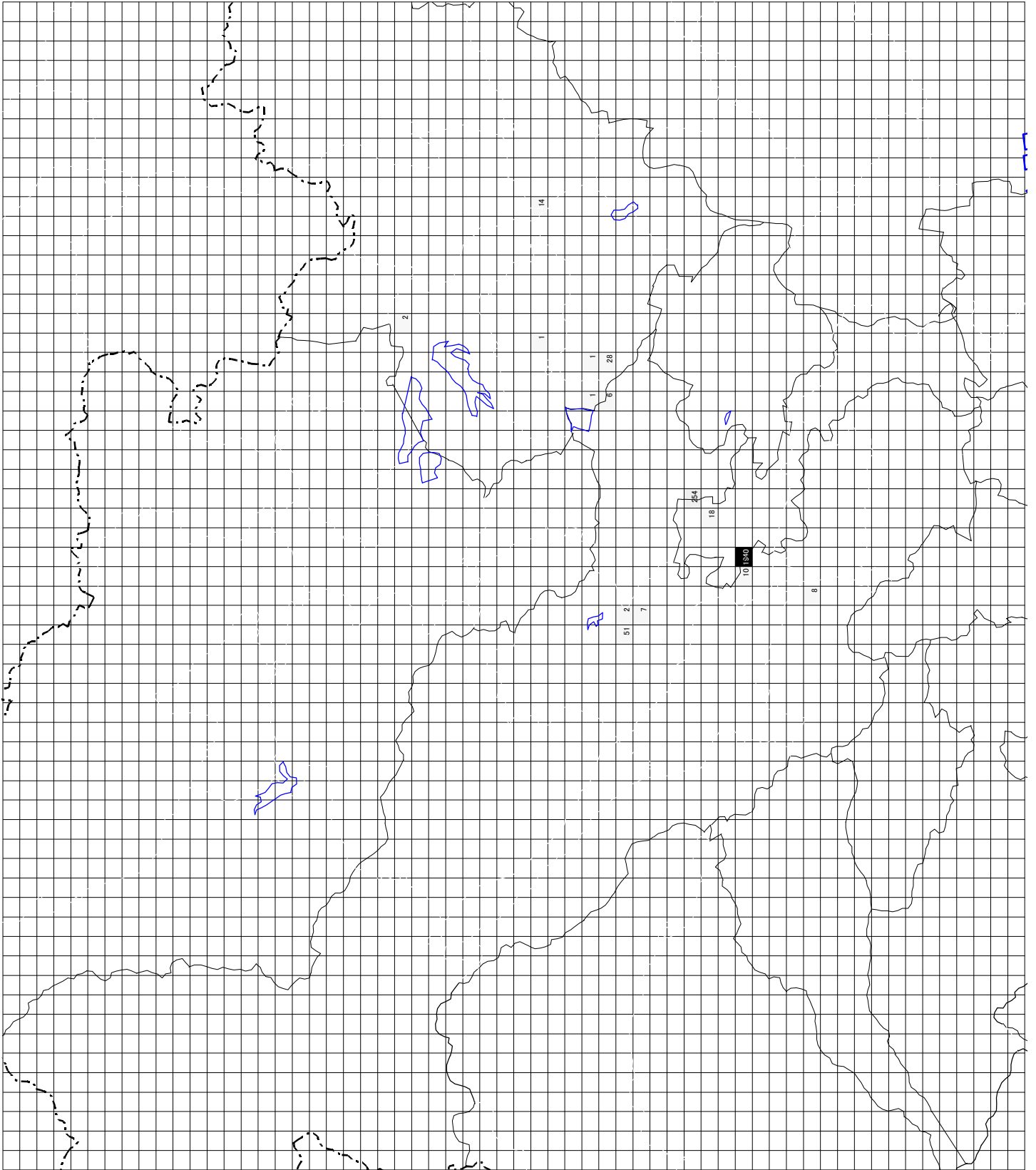


図14 シュウガウシカラガン

一斉調査実施日

2019年1月13日

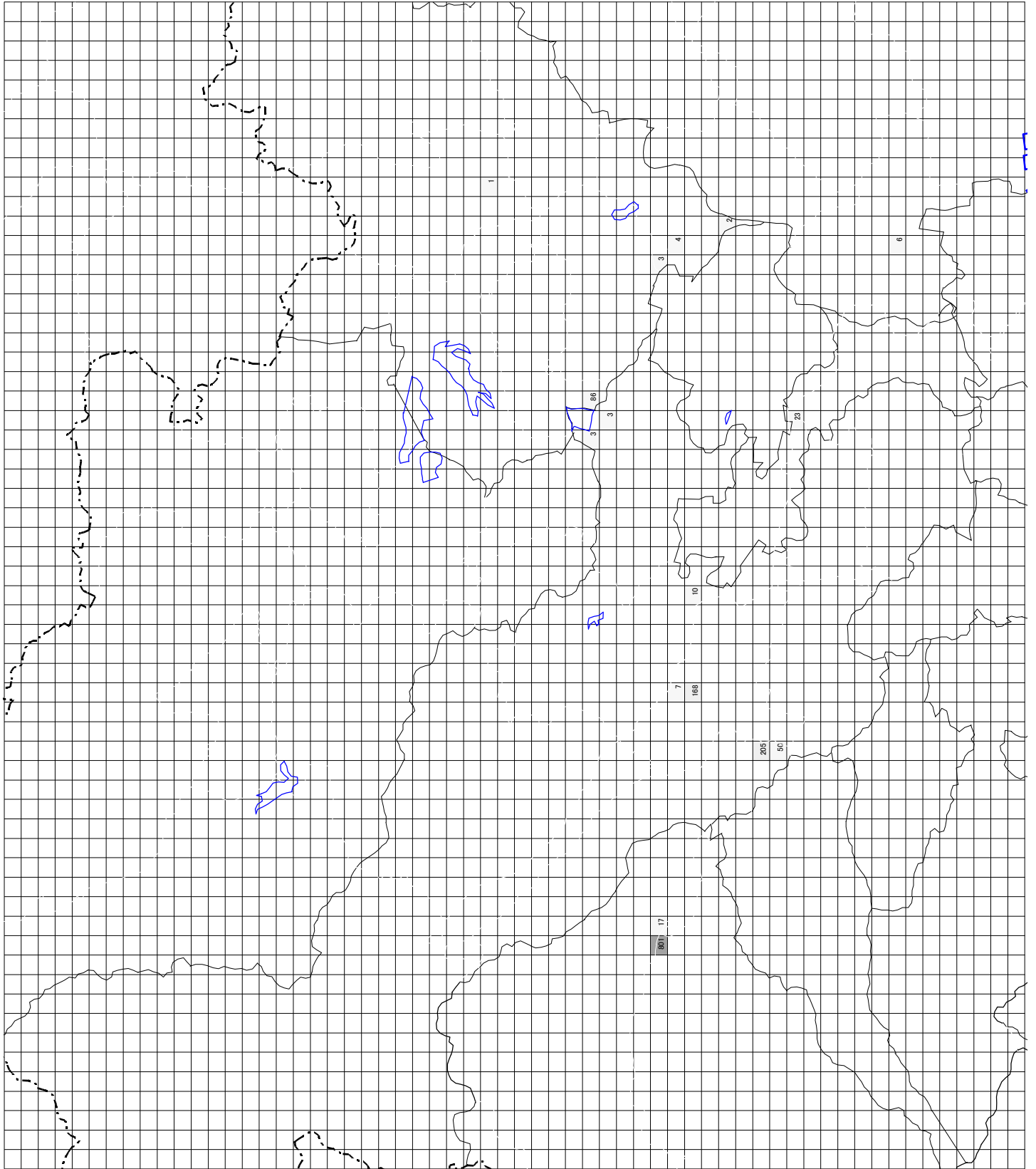


図15 シュユウシカラガン

一斉調査実施日
2019年2月10日

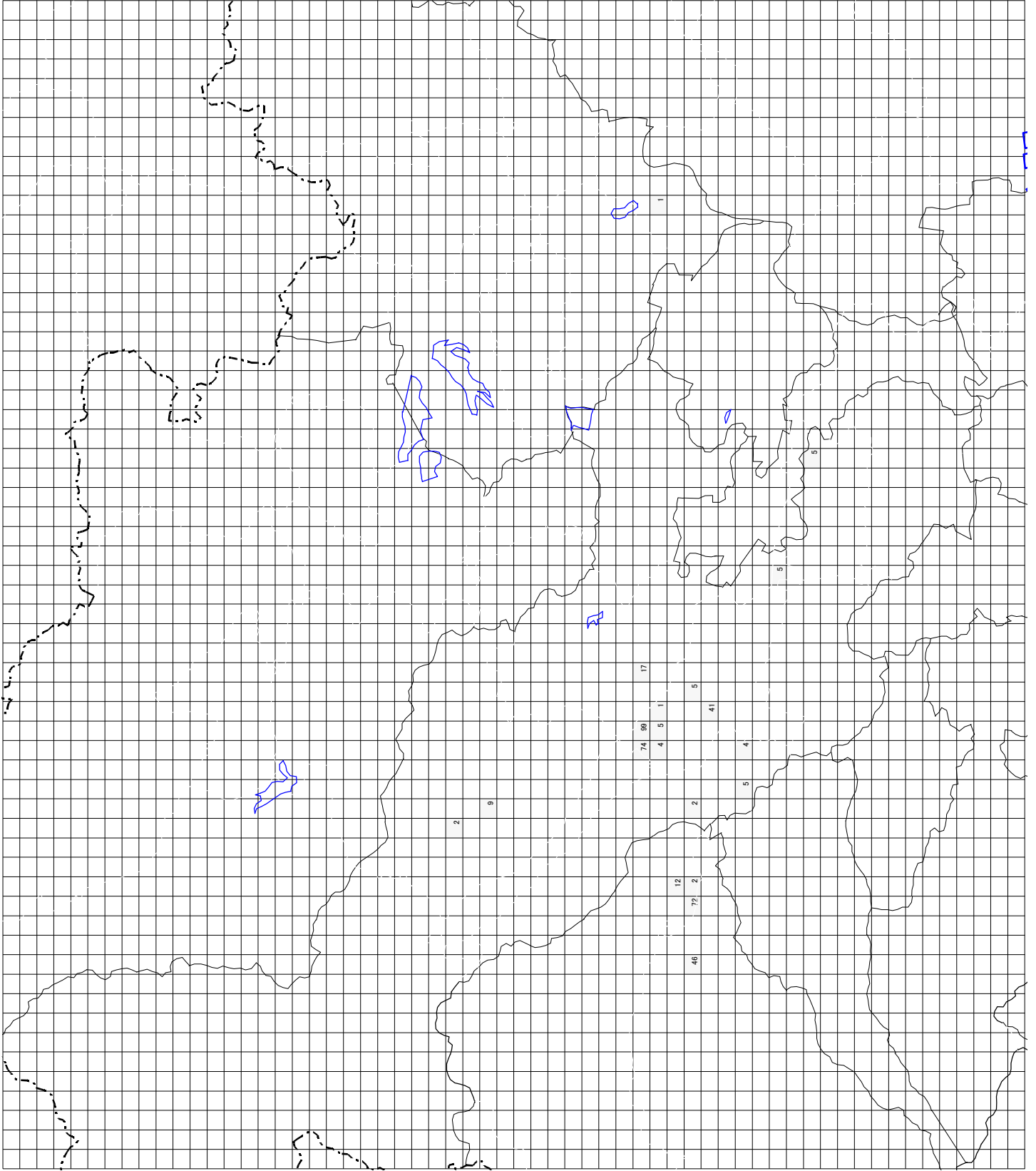


図16
シラユウ
カガン
中型亞種

一斉調査実施日

2019年1月13日

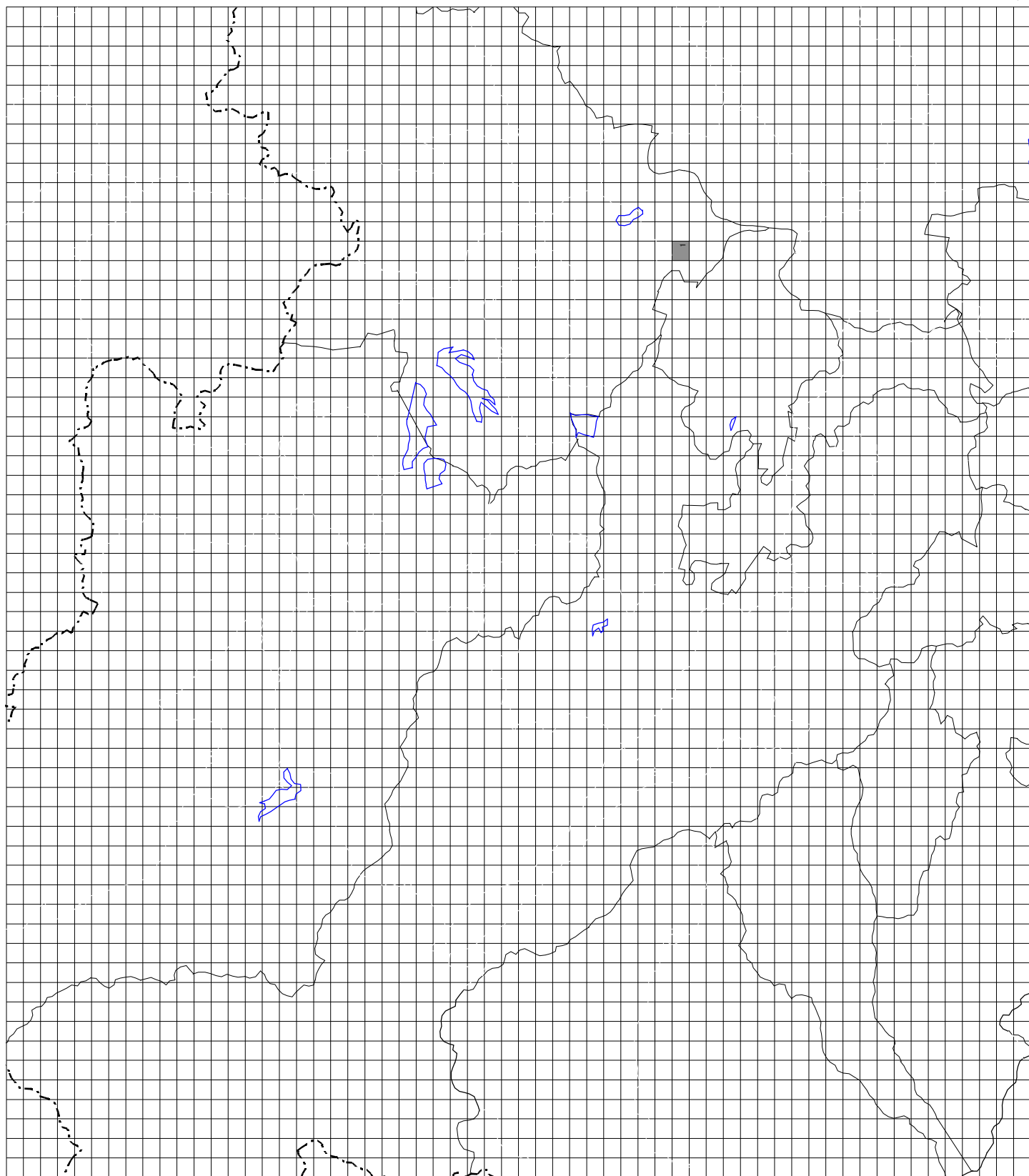


図17 シュウガ
シラガ
中型亜種

一斉調査実施日

2019年2月10日

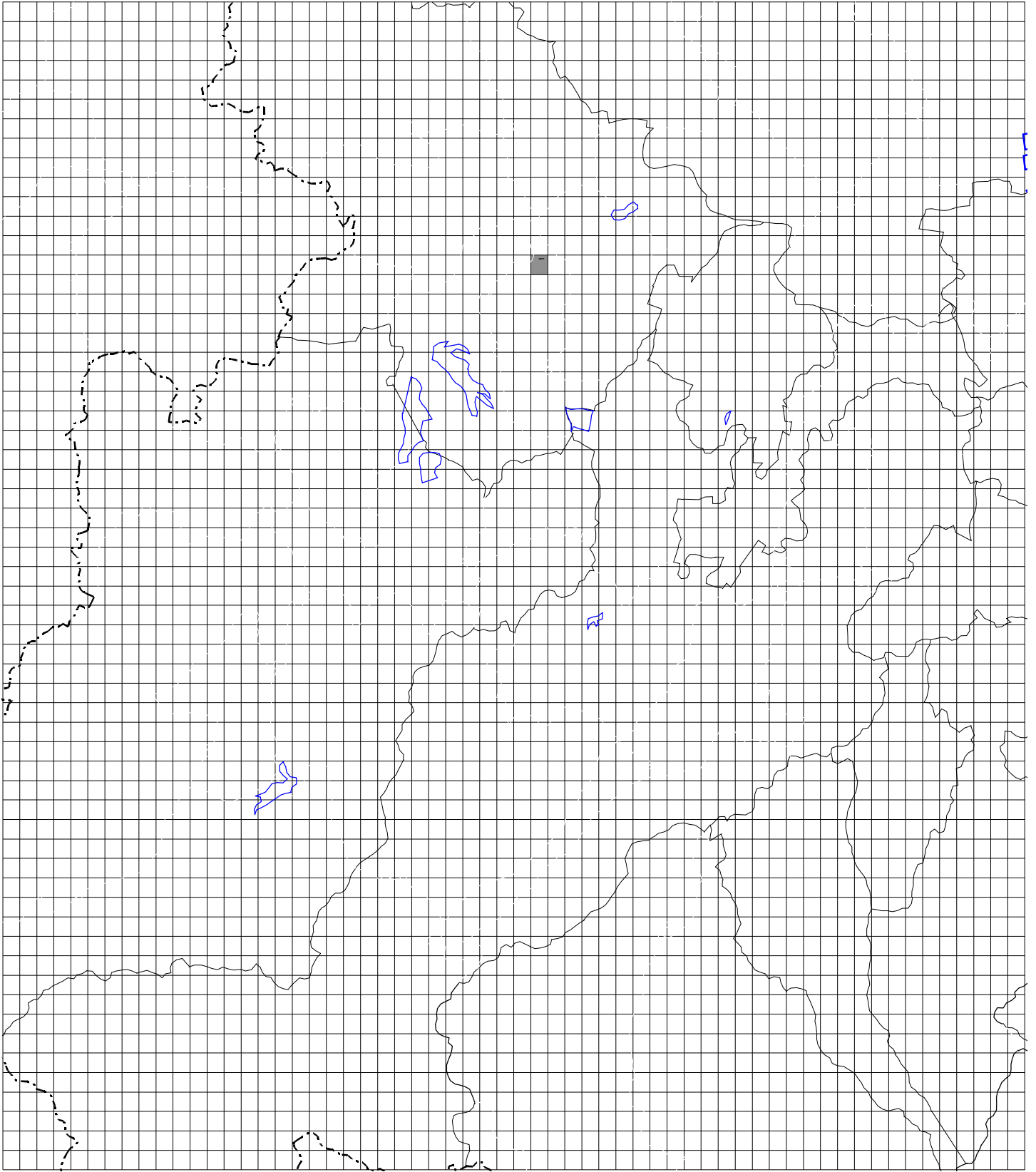


図18
ハクガン

一斉調査実施日
2018年12月9日

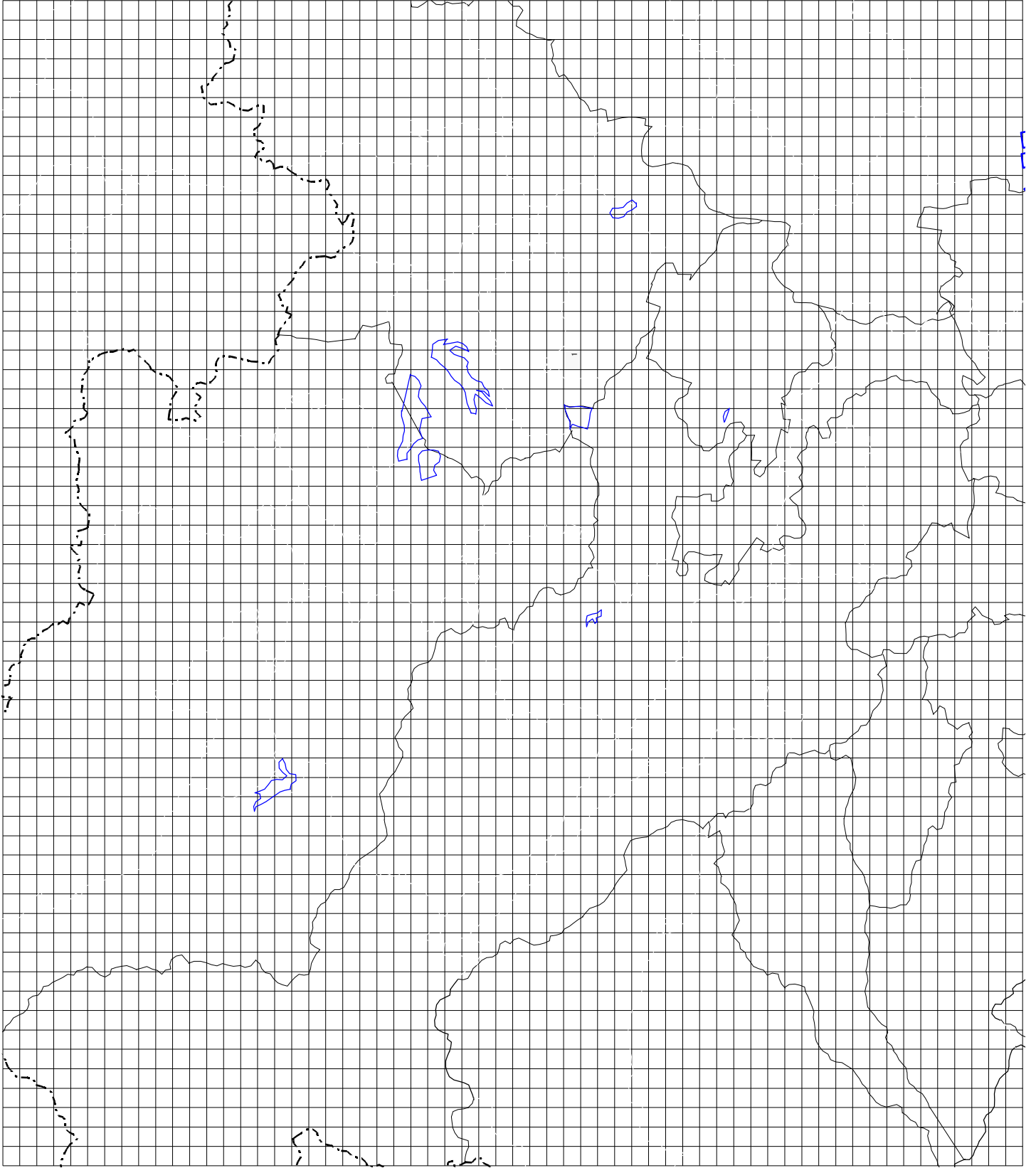


図19 ハクガン

一斉調査実施日
2019年1月13日

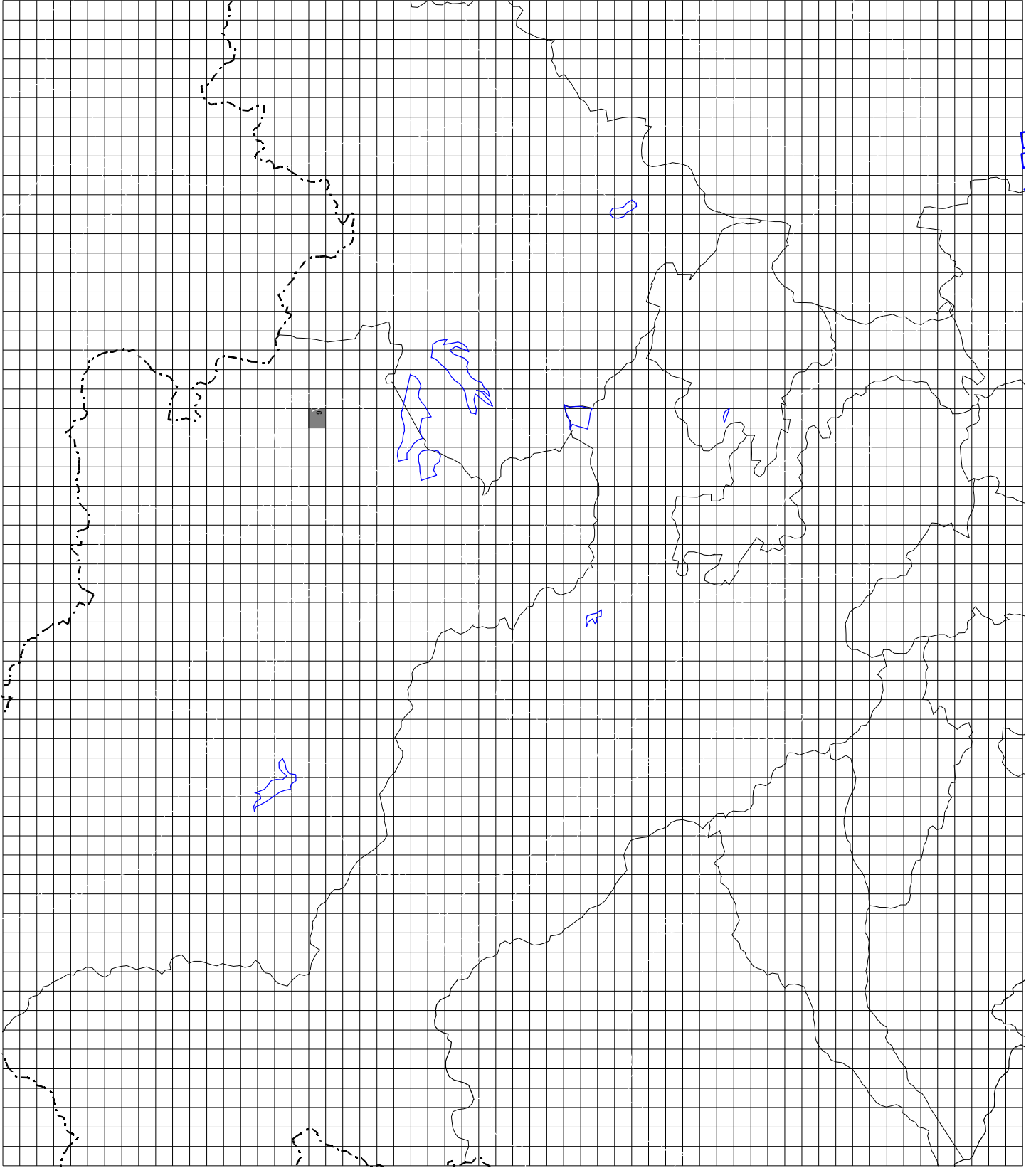


図20 カリガネ

一斉調査実施日
2018年11月11日

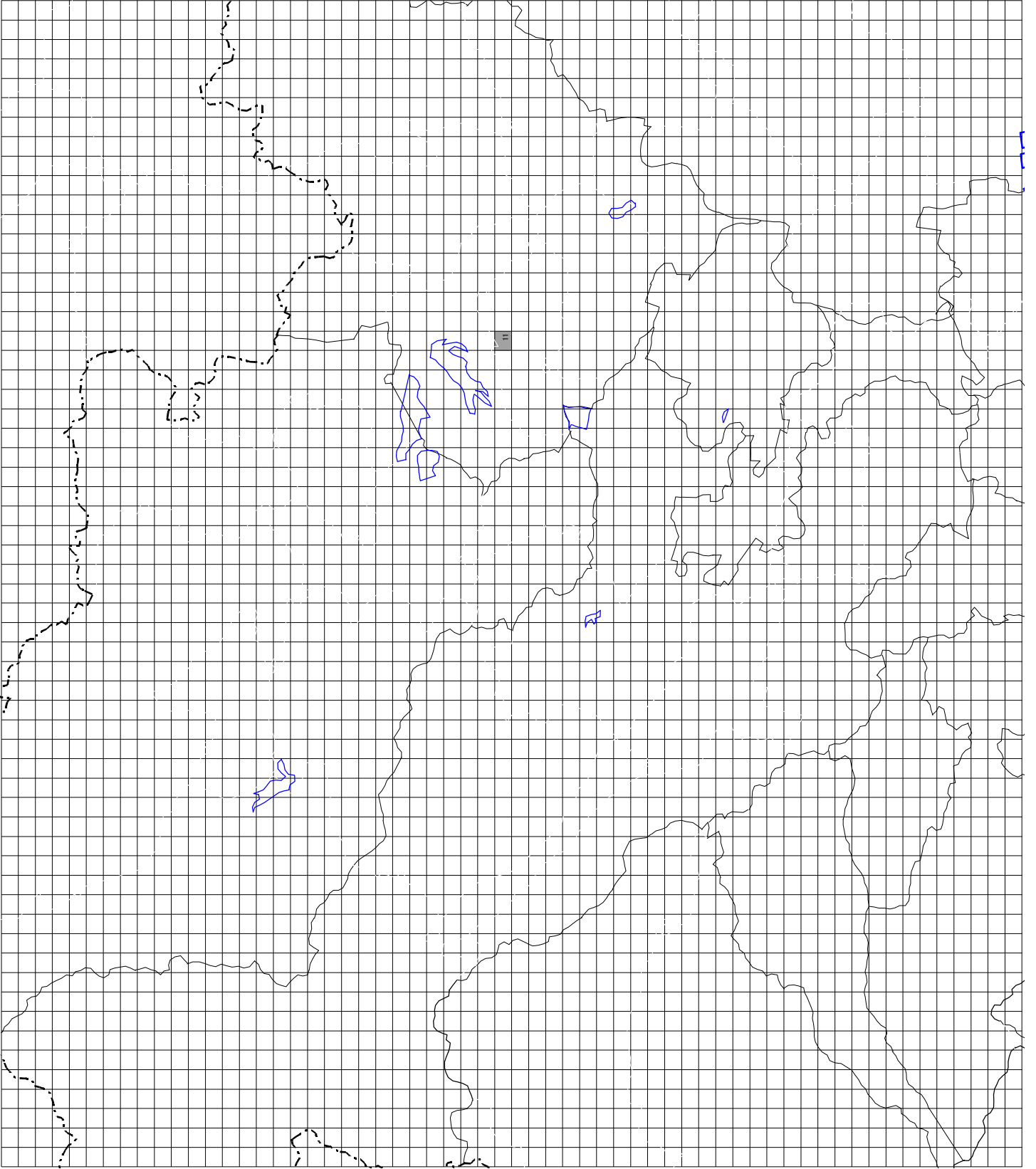


図21
カリガネ

一斉調査実施日
2018年12月9日

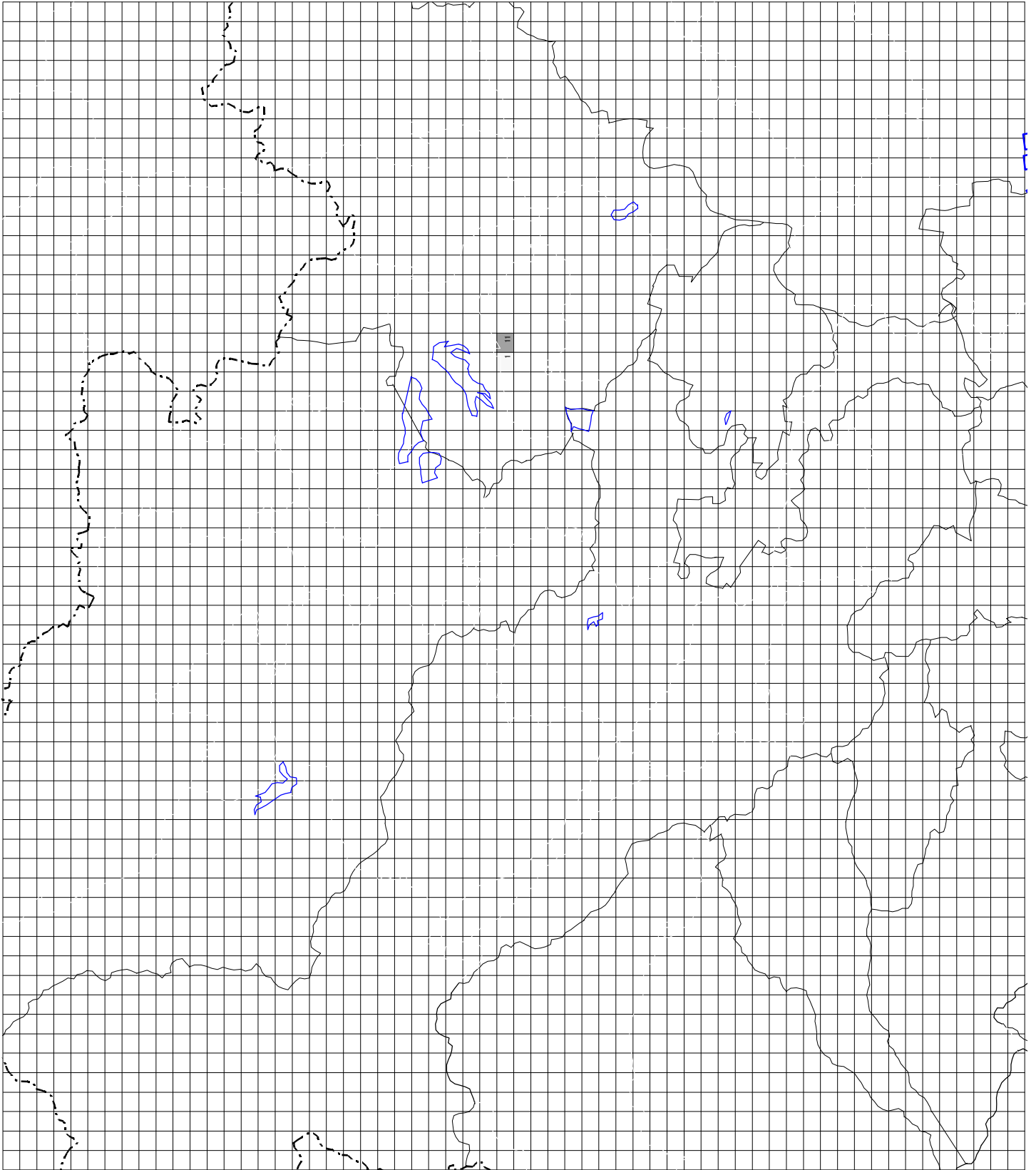


図22 カリガネ

一斉調査実施日
2019年1月13日

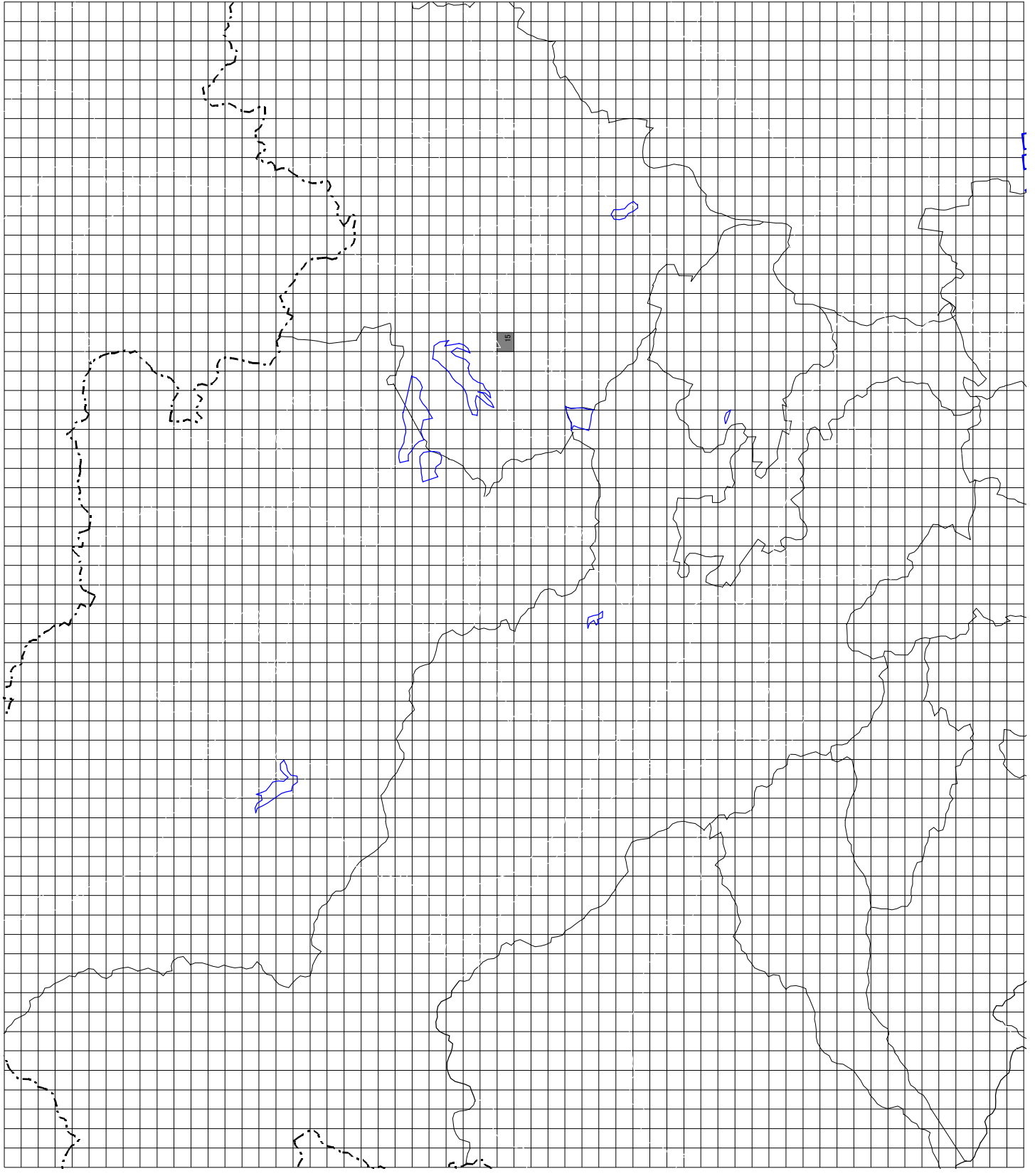
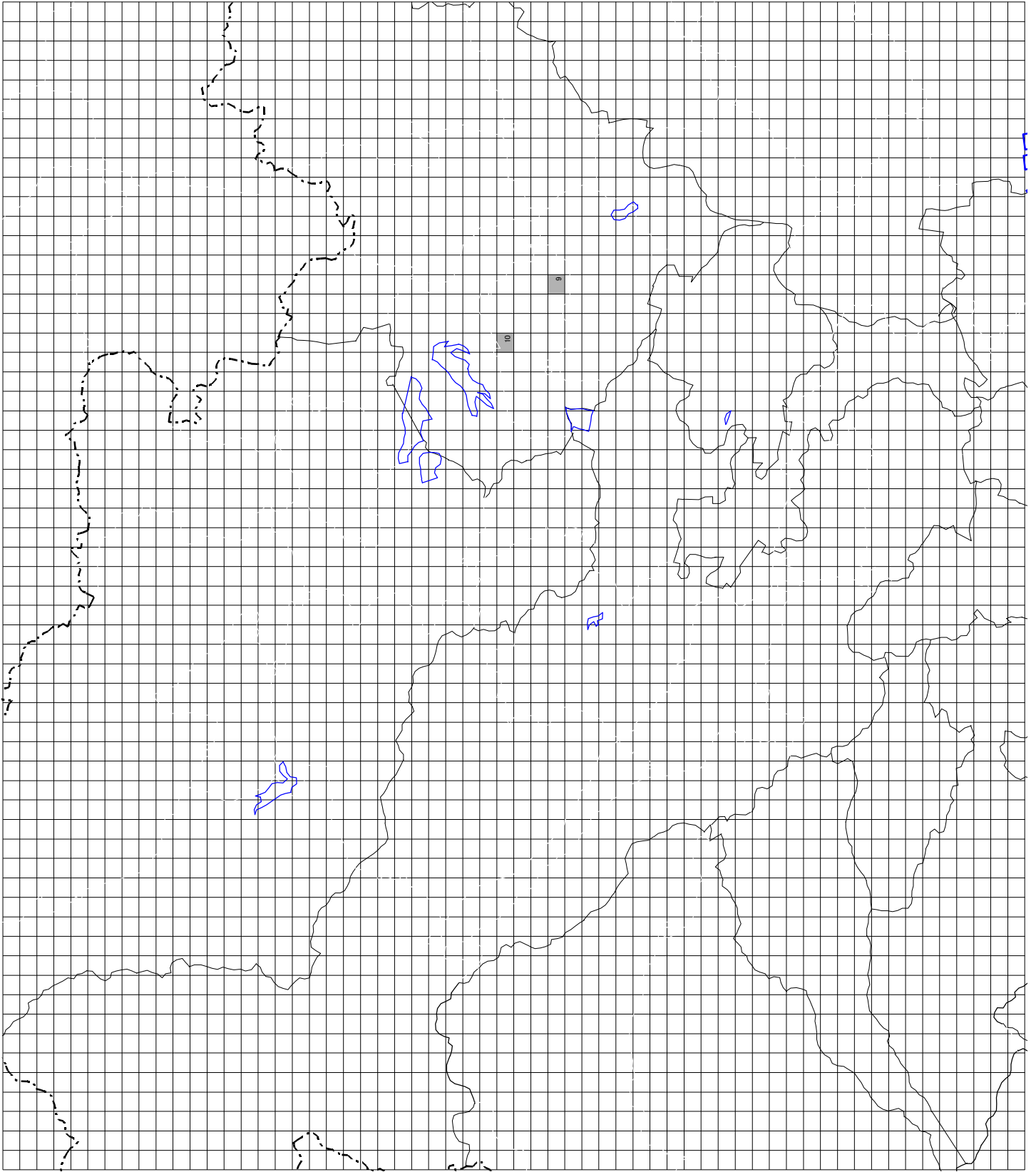


図23
カリガネ

一斉調査実施日

2019年2月10日



Flying Geese プロジェクト・リーダー

齋藤 肇

蕪栗沼や伊豆沼周辺の調査エリアもこれまでは月によって実施できないことがありましたが、今年はすべての月で行うことができました。ここまで調査が充実してきたのはガン類をきっかけに少しずつ人の輪が広がってきたおかげです。これからも新しいメンバーを加えて次代につながる活動を続けていけたらと思います。

調査員 (50音順)

石場 理沙	木村 吹江	千葉 嘉一
一條 達也	楠本 ゆり	中嶋 信夫
一條 紀枝	楠本 凜	新野 聡
岩渕 成紀	熊倉 優太	新野 圭美
碓氷 裕史	呉地 正行	野徳 貴子
内野 敬	齋藤 浩子	船橋 玲二
瓜生 篤	齋藤 肇	牧岡 明日香
遠藤 則晴	作田 竜一	宮林 泰彦
大和田 順子	佐々木 綾子	門間 哲司
金田 朋華	佐々木 和憲	ルイス・レオン
鎌田 和子	鈴木 康	

運営スタッフ

齋藤 豊子
齋藤 浩子

データとりまとめ

船橋 玲二

平成30年度 みやぎラムサールトライアングル魅力発信事業
情報発信基盤整備業務報告書

平成31年3月20日
NPO法人田んぼ
〒989-4302
宮城県大崎市田尻大貫字荒屋敷29-1